

学校・家庭・地域連携協力推進事業等

実践事例集

【その他(通学合宿等)】



静岡県では、学校・家庭・地域の連携・協働による社会総がかりの教育を推進しています。

教育活動を進める県内市町の協力により、地域学校協働本部や放課後子供教室、家庭教育支援、通学合宿など地域ぐるみで子供を育む活動の実践事例集を作成しました。

地域の様々な活動の事例集を活用し、社会総がかりの教育体制の一層の充実を図ります。

地域学校協働本部

地域住民・団体が学校とともに、目標やビジョンを共有し、地域ぐるみで子供たちを育む緩やかなネットワークを構築。

放課後子供教室

放課後等の子供たちの安全・安心な居場所として、地域住民の参画を得て、多様な体験活動や地域住民との交流、学習機会を提供。

家庭教育支援

すべての親が安心して家庭教育を行えるよう、家庭教育支援員の養成や家庭教育支援チームの組織化、学校等との連携により、保護者への学習機会の提供や相談対応等を実施。

通学合宿

子供が自己を律しながら生きる力を育むとともに、地域の教育力の向上を図ることを目的として、異年齢の子どもたちによる共同生活を実施。

静岡県教育委員会

市町名	島田市
-----	-----

地域学校協働本部	
放課後子供教室等(学習支援・体験活動)	
家庭教育支援	
その他(通学合宿等)	○



実施開始年度	平成 21 年度
--------	----------

立ち上げ経緯	ボランティアふれ愛という団体が地域の子どもたちに合宿体験を通じて異年齢の年代をまたいで交流する機会を提供し集団生活の中で仲間づくりや普段の家族との関りでなく集団にて様々な体験をさせることを目的に長年にわたり実施している。
--------	--

活動名	ボランティアふれ愛 『合宿体験・夏バージョン』			
実施箇所名	島市長島公会堂及び周辺(今年度)			
活動の概要・特徴・工夫	目的	子育て支援(自然環境における様々な体験活動により子どもたちの豊かな心を育み、コミュニケーション力の醸成を目指す)		
	開催日数等	8月24(土)・25日(日)	実施場所	島市長島公会堂及び伊久美川
	参加児童・生徒数	13 人	ボランティア数	2 人
	<p><概要・特徴></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアふれ愛の年間行事として地域貢献の活動の一つである。少子高齢化が叫ばれている中、余裕のない・忙しい親御さんの子育てを支援する為に異年齢の子どもたちや親御さんに参加して頂き地域の自然環境を活かした体験活動を実施している。参加者の制限は特になく、学区の相違する方も受け入れている。 <p><活動上の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族での参加を認めており普段関わりの無い家族・子どもたちの仲間づくりができるよう合宿体験の様々な役割分担をすることにより参加者同士の交流の機会を設けている。 ・大人主導でなく子どもたちの自主性を重んじて取り組んでいる。 			
	連携先	なし		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち同士での関係性豊かな交流が実施されていてリピーター家族が多くいる。 ・学区を跨いだつながりが生まれている。 ・乳児・幼児や自分よりも低学年との交流する機会を得ることで子どもたちのやさしさを垣間見ることができている。 			
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数が多くなることがあるので開催回数を増やすことも検討が必要。 ・リピーター家族が多く、新規参加者の受け入れに制限が生じることがある。 ・学校等への開催案内や周知が難しい。 			
備考	最初の実施予定日7月14・15日天候不順の為、8月24・25日に延期実施した。			

参考URL	
-------	--

市町名 島田市

地域学校協働本部	
放課後子供教室等(学習支援・体験活動)	
家庭教育支援	
その他(通学合宿等)	○



実施開始年度 平成 22 年度

立ち上げ経緯

島田市大津地区の幼児・児童の健全な育成を推進するとともに、地域教育力の向上を図ることを目的とする「大津っ子をみんなで育てる協議会」が地域で設立され、平成22年から通学合宿やしめ縄づくり教室などさまざまな事業を行い地域の子供を保護者や地域の人で育てる事業として行っている。

活動名	大津っ子体験寺子屋事業		
実施箇所名	大津農村環境改善センター（公民館類似施設）		
活動の概要・特徴・工夫	目的	地域の人材育成	
	開催日数等	1泊2日	実施場所 大津農村環境改善センター
	参加児童・生徒数	30人	ボランティア数 20人
	<p><概要・特徴> 2つの目的を掲げ事業を進めている。 ①たくましく豊かな心を育てる。②地域の子供を地域で育む機運を高める。 子どもたちが、家庭を離れ自分たちの力で生活体験することにより、日常生活に必要な生活能力やお互いの立場を理解し協力する心を育む。また、事業を通じて、学校・家庭・地域の連携を図り、地域全体で子どもたちを育む環境を整備する。</p> <p><活動上の工夫> ・参加者とその保護者、ボランティアを集めて事前説明会を開催し、当日の自分の役割や班活動の内容や用意するものをボランティアも入り事前に話し合いで決めさせている。 ・健康状態やアレルギー（好き嫌い）などを事前に調査し、さらに当日3日前からの健康状態を記載した健康観察カードを提出させ参加者の健康状況をチェックする。</p>		
	連携先	自治会、幼稚園、保育園、読み聞かせボランティア、PTA、地区社会教育協議会、学校等	
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・この地区では小学校は一つで他学年同士の交流もあると思うが、宿泊となると学校とは違う環境での他学年同士の交流があり、子供同士のきずなが強くなっていた。 ・集団生活の中でのルールを守る中で、年長の子供が下の者に注意されたり、逆に下の者へのお手本となるための行動をとる子供たちも見受けられた。 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、多くのボランティアの支えがないと成立しない。今までは2泊3日で行っていたが、前回から1泊2日となった。平日、休日のボランティアの確保、特に深夜のボランティアの確保は課題となっている。また、ボランティアが高齢化しており若い世代のボランティアの育成や確保が課題となっている。 		
備考			

参考URL

市町名 島田市

地域学校協働本部	
放課後子供教室等(学習支援・体験活動)	
家庭教育支援	
その他(通学合宿等)	○



実施開始年度 不明

立ち上げ経緯 以前よりある子ども会が母体となっている。人数の減少により保育園児3歳以上も参加対象としている。

活動名	抜里子ども会育成会事業		
実施箇所名	交流センター、野守の池、抜里園、旧保育園園庭、町内		
活動の概要・特徴・工夫	目的	地域社会に貢献できる人材の育成	
	開催日数等	7日	実施場所 抜里地区およびその周辺
	参加児童・生徒数	21人	ボランティア数 3~10人
	<p><概要・特徴></p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども会事業活動への参加を通じて、子どもと地域住民との交流を促進し、世代間の縦のつながりや絆を深めることで、地域への愛着心を育むことを目指す。これにより、子どもたちの成長の根を築き、将来的に地域社会に貢献できる人材を育成することを目指しています。なお、イベントはすべて外部の業者を利用せず、地域住民の運営により開催されています。 <p><活動上の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 保育園児から、小学生(ボランティア参加の中学生)、地域住民といった幅広い世代と一緒に活動に参加して、地域とのつながりを重視するようにしている。 模擬店などにおいては中学生ボランティア、小学生高学年が運営として参加し、地域内外の子どもへの対応をしている。 		
	連携先	町内会 川根中学校、川根小学校、島田市消防団15分団、抜里園、抜里エコポリス	
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> 保育園児から行事に参加することにより地域への関心が高まり、中学生になってもボランティアとして事業に参加する子どもが多い。 保育園児、小学校低学年の児童を高学年の児童が行事の運営側として参加することで、地域活動へ参加の意識が高まる。 		
課題等	スポーツ少年団等の活動と行事が被ることがあり、日程の調整に工夫が必要。		
備考			
参考URL			

市町名 掛川市

地域学校協働本部	
放課後子供教室等(学習支援・体験活動)	
家庭教育支援	
その他(通学合宿等)	○



実施開始年度 平成 14 年度

立ち上げ経緯 『ここに来れば必ず誰かがいて一緒に遊べる』という場所の提供を行うため。

活動名	どようひろば			
実施箇所名	葛ヶ丘会館			
活動の概要・特徴・工夫	目的	休日の居場所づくり、異世代交流		
	開催日数等	47日	実施場所	葛ヶ丘会館 葛ヶ丘公園
	参加児童・生徒数 (延べ)	516 人	ボランティア数	3 人
	<p><概要・特徴></p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週土曜日の午前中に開催。 教室では、読み聞かせ、布ボール遊び、積み木、手芸、簡単な工作、室内ゲーム等を行う。また、豆まきやお花見等季節的な行事や、伝統的な事柄を伝達する。 対象者は主に小学生だが、そのきょうだいの幼稚園、中学生も参加している。 教室が終わったら、役割を決めて、児童自身が片付けを行う。 <p><活動上の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの「やってみたい」を尊重し、自分の意思を大切にする活動を行っている。 季節の行事を楽しむことで、子どもたちに四季の美しさを味わってもらったり、日本の伝統を体験してもらう。 			
	連携先			
活動の成果	・異学年の交流ができています。			
課題等	<ul style="list-style-type: none"> 担当ボランティアが限られてきている。 参加児童が固定化してきている。 			
備考				

参考URL <https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/10910.html>

学校・家庭・地域連携協力推進事業等
実践事例集

発行 令和7年3月

発行者 静岡県教育委員会社会教育課
〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電話 054-221-3115

F A X 054-221-3362

E-mail kyoui_shakyo@pref.shizuoka.lg.jp